

Copyright Notice

This document is provided under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License (CC BY-NC-SA 4.0):

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/>

You are free to:

- Share — copy and redistribute the material in any medium or format
- Adapt — remix, transform, and build upon the material

Under the following terms:

- Attribution — You must give appropriate credit to the publisher, provide a link to the license, and indicate if changes were made. You may do so in any reasonable manner, but not in any way that suggests the licensor endorses you or your use.
- NonCommercial — You may not use the material for commercial purposes.
- ShareAlike — If you remix, transform, or build upon the material, you must distribute your contributions under the same license as the original.

About the Project

This document was created with the permission of participating publishers as part of the Japanese Multi-Volume Sets Discoverability Improvement Project, funded by the Council on East Asian Libraries and the Mellon Foundation for Innovation Grants for East Asian Librarians.

『美術評論』
総目次

凡 例

- 一、本目次は、『美術評論』（畫報社刊）第一号から第二十五号までの各号の総目次である。
- 一、本目次の表記は、各々の見出しを記し、適宜最小限を本書解説者が補足した。
- 一、頁数を（ ）で括ったものは、その頁の後の綴（折）込であることを示す。
- 一、記事執筆で該当する人物と思われるものには、「 」（ ）で名前を付した。また批評「無罪門」で一号から十号（二号をのぞく）までの評者の行間に付した（ ）内は、実際の発言者を記したものである。詳しくは解説を参照されたい。

美術評論 第一卷目次

●第一号(明治三十年十一月十四日)

発刊の主意

3

作品【以下第九号まで写真版】

「聖女受冠図」(セピア、三丁折込)

フラ、アンジェリコ (6)

「銀製牧童」

海野美盛

7

「木彫能久親王殿下像型」

新開竹次郎

9

「木彫浮世画人物置物」

山崎朝雲

11

「牙彫観音」

朝日明堂

13

「銀製承和楽」

向井勝幸

13

論説

美術の地方的特色

九鬼隆一口述・虎門生筆記

15

裸体画につきて(一)

方眼(久米桂一郎)

17

史伝

西洋美術史(一) 芸術の萌芽

無名氏(森鷗外・大村西崖)

23

浪越浮世絵類考(上)

川崎茶六(千虎)

32

伊太利十五世紀の宗教画家フラ、アンジェリコ(上)

岩村透

37

批評

無扉門(評者 糕阪(森鷗外)・暁鴉(久米桂一郎))

・酔壺(岩村透)・角丸・一曲・岳南(大村西崖)

海野美盛作牧童(第十二回彫工競技会列品)

理屈屋・□○・穴探し・小サイ穴探し・解剖

家・無想家・糕阪・一曲

41

新開竹次郎作能久親王像小型(第十二回彫工競技会列品)

技会列品。やかましや・□○・勤王家・正直

者・穴探し・糕阪・一曲^(岳) 45

山崎朝雲作浮世人物(第十二回彫工競技会列品。

□○・気楽人・○○^(酔)・糕阪・一曲^(岳) 47

向井勝幸作承和楽(第十二回彫工競技会列品。

□○・気取り屋・○○^(酔)・糕阪・一曲・悪口^(岳) 48

朝日明堂作観音像(第十二回彫工競技会列品。

老僧・短気者・慈善家・糕阪・一曲・悪口^(岳) 49

雑報

落葉(八件) 自然堂(大村西崖)

三宅雪嶺「絵画と写真」評 50

金子堅太郎の美術協会演説要領 52

美術界の党閥 53

読売門内生評への激励 53

如来生及び井蛙生の海野美盛牧童評の評 53

芳陵の美術小言への反論 54

新派に対する提灯記事を排して実作品制作の督

励 55

時事(十八件)

臨時全国宝物取調局(十月三十一日付)廃止 56

東京美術学校の制服変更 56

東京美術学校の油絵裸体写生を揮着用にて許可 56

大阪の美術新報数字で廃刊 56

東京美術学校入学生の内訳 56

美盛作牧童・石川光明作鶏が農商務省に買上げ 56

佛国大博覧会出品の彫工競技会作品への農商

務省補助 56

新古美術品展覧会開会 56

京都奨美会が佛国大博覧会に岸光景図案の書棚

・手箱を製作 56

東京美術学校卒業生の大計画 56

日本美術協会秋季展出品内容 56

日本絵画協会共進会出品内容 57

白馬会出品内容 57

美術協会の審査長金子堅太郎・絵画協会は岡倉

覚三・白馬会なし

57

同会出品画の佛国博覧会出品の為の農商務省買

上の選択人

57

福地復一佛国出品の装飾図案を制作中の事

57

岡倉覚三を主任に本邦美術史を帝国博物館で編

輯の事

57

有栖川宮熾仁像に大熊氏広制作の小型を採用

58

●第二号(明治三十年十一月二十日)

63

〔本号は黒田清輝「智感情」掲載により翌年五月六

日発売禁止となる。〕

作品

「智感情」(セピア、三丁折込み)

黒田清輝 (66)

「海辺の松林」

和田英作

67

「菊の精」

寺崎廣業

69

「平和」

山田敬中

71

「鯉」

竹内棲鳳

73

「加茂競馬」

海野美盛

75

論説

社会と作家

岡倉覚三

77

史伝

西洋美術史(二) 上古・埃及

無名氏稿

79

紙絵、絹絵

溝口禎次郎

90

批評

無扉門(糕阪・角丸・暁鴉・酔壺・一曲・岳南・

吞月)

海野美盛作競馬(彫工会列品。鼯鼠・大の鼯鼠

・□○・馬術家・気取り屋・糕阪・洋行帰り

・一曲)

92

山田鬼齋作楠公像(彫工会列品。九四頁に写真

図版。冷淡・悪口・□○・ボンヤリ・○○・

糕阪・一曲・悪口)

94

石川光明作雞(彫工会列品。九六頁に写真図版。

通人・生意気・マテリアリスト・糕阪・一曲)

黒田清輝筆智、感、情(白馬会列品。鼯負・大の鼯負・老人・癡り固まりの裸体崇拜家・真面目な男・第二の老人・題目論者・公平・怒り上戸・糕阪・岳南・□○・素人)	95
和田英作筆海辺の松林(白馬会列品。鼯負・穴探し・大の鼯負・評を評する人・ヘコマシ家・一曲・呑月・岳南)	110
竹内棲鳳筆鯉(絵画共進会列品。鼯負・不賛成・好人物・大の鼯負・図取りを気にする人・一曲・岳南・□○)	111
山田敬中筆平和(絵画共進会列品。早合点・理想家・ポンチ画師・真面目・ナチュラリスト・新聞屋・□○・皮肉・筆法論者)	112
寺崎廣業筆菊の精(絵画共進会列品。手際を賞める人・穴探し・理想嫌ひ・真面目・化物嫌ひ・一曲・理想好き・□○)	114

雑 録

落葉(二十四件)

自然堂

宮内省の買上げ等の世間上の名誉必ずしも美術上のものあらざる事	117
美術協会および絵画協会の情実的審査理想画奨励を憂る事	117
作者は批評と嗜好を聞き分く聡を持つべき事	117
絵画協会出品の大作品の愚を戒める事	118
大作の結城素明の小幅に及ばざる事	118
賞牌の猿真似を戒める事	118
棲鳳の筆法を模する者ふえるを戒める事	118
東京朝日の素園主人の評し方を酷評	118
新聞評家の駄評を評する事	118
待風郎の珍説を酷評	118
美術協会の賞状評語の駄評の事	119
展覧会出品作の拙作多き事	119
山田鬼齋の図案評	119

太陽掲載の美術家の写真	119
課題制作の弊	119
橋本雅邦の禅学と作略相似たる事	119
丹陵門下の雅邦に参ぜし事	119
展覧会で真に美術を観る人の少なき事	119
官校の力を藉らず人小坂象堂と河合玉堂	119
下條と岡倉の優劣を較す	120
時事(十九件)	
日本美術協会行啓の御用品	120
常宮周宮臨場の御用品	120
宮内省御用品一覧	120
農商務省より仏国博覧会出品への補助製作の追	
加	120
同山田鬼齋の作品	121
彫塑会結成の事	121
彫塑会結成の紛糾の事	121
日本美術図案協会結成	122

日本絵画協会共進会への東京美術学校教員出品	122
作を校長臨検の事	122
絵画協会委員と新聞批評家の会合	122
新國華創刊の事	122
石井鼎湖十一月二日没	122
日本南画協会発会式	122
京都市美術工芸学校々友会第二回開会	123
浜尾新文部大臣就任の事	123
博物館依嘱の本邦美術史の体裁	123
第三回絵画共進会の審査員	123
同会審査結果	123
同会入場者数	124
美術評論第二号正誤	(124)
●第三号(明治三十年十二月五日)	129
作品	
「冬枯」	133
久米桂一郎	

避暑	黒田清輝	135	一曲・行脚・悪口 ^(角) ^(呑)
	和田英作	137	
渡頭の夕暮	川端玉章	139	黒田清輝筆避暑(白馬会列品。老人・皮肉・ 鼯鼠 ^(晩) ・専門家・呑月・一曲・岳南・穴探し ^(酔))
	本多天城	141	
羅浮仙	小坂象堂	143	和田英作筆渡頭の夕暮(白馬会列品。鼯鼠 ^(晩) ・ 悪口 ^(呑) ・曉鴉・酔壺・一曲・公平 ^(角))
	久保田米斎	145	
稚足姫	岡部覚彌	147	川端玉章筆犀川(絵画協会列品。岳南・油画か き・批評家・老人・一曲 ^(酔))
	彫金山水	147	
論説	裸体画につきて(二)	149	本多天城筆羅浮仙(絵画協会列品。岳南・無駄 口・心配する人・滑稽家・彌次馬・随一の悪 まれもの ^(呑) ・第二の悪まれもの ^(角))
	美術図案(未完)	154	
史伝	西洋美術史(三) 埃及	156	小坂象堂筆小春(絵画協会列品。岳南・小さい 疵をいふ人・曉鴉・呑月・酔壺・一曲・傍聴 者 ^(角))
	浪越浮世絵類考(中)	163	
批評	無名氏	156	久保田米斎筆稚足姫(絵画協会列品。岳南・ 無学者 ^(晩) ・生意気 ^(酔) ・冷淡者 ^(二) ・婆心家 ^(角) ・呑月・ 油絵師 ^(酔))
	川崎茶六	163	
呑月	無扉門(糕阪・角丸・曉鴉・酔壺・一曲・岳南・ 呑月)	178	岡部覚彌筆雕金山水(彫工会列品。口上・酷論 ^(角))
	久米桂一郎筆冬枯(白馬会列品。岳南・酔壺・ 呑月)	178	

家・糕阪・辯護人・吞月・悪口・鼯鼠 ^(一) ^(五)	179
雑録	

雑感(十五件)	
無記菴(大村西崖)・晚香園	
共進会出品画の理想画減少歡迎の事	182
博覧会出品の情実	182
陳列の仕方	182
出品画題の誤記	182
大觀の「聴法」の事	182
日本画通信講習録の毛筆画批判	182
裸体と猥褻	183
「日本」及読売の美術批評の評	183
美術批評の進歩文学家にあり	183
有栖川宮像彫像競技に藤田文蔵落選の経緯	183
「太陽」の美術局外觀の評	183
井蛙生の辯妄について	183
自然堂	
門内君に答ふ	186
編者(大村西崖)	
時事(十三件)	

第三回絵画共進会審査結果	187
巴里博覧会出品の為の農商務省買上げ品	188
同会出品補助製作の図案	189
文学家美術家の第一回雑話会	189
日本美術協会の列品館建築の事	189
彫塑会の會員製作	189
共進会出品作品の批評	190
第四回共進会の準備	190
明治美術会創立十年展の事	190
共進会閉会	190
白馬会出品の白耳義作家	190
明人張瑞図の裔	190
●第四号(明治三十年十二月二十日)	195
作品	
「一斎像」	199
「天人」	201
白井雨山	
新納忠之助	

〔稽古〕	白瀧幾之助	203
〔維盛哀別〕	小堀鞆音	205
〔鴛鴦〕	今尾景年	207
〔菊花争雀〕	大出東皐	209
〔江村驟雨〕	加藤彩溪	211
論 說		
日本絵画に就いて(一)		
史 伝	末松青萍口述・伊内太郎速記	213
西洋美術史(四)	巴比侖及亞西里亞	218
浪越浮世絵類考(下)	川崎茶六	229
批評		
無扉門(糕阪・角丸・暁鴉・酔壺・一曲・岳南・呑月)		
白井雨山作佐藤一斎像(彫塑会列品。鼻眞・岳南・悪口・学者先生・獨言・糕阪)		223
新納忠之助作天人(彫塑会列品。口上・岳南・		
素人・皮肉・着実家・悪口・差出口・糕阪)		236
白瀧幾之助筆稽古(白馬会列品。口上・高尚・		
ぶる人・暁鴉・酔壺・公平・国粹保存家・糕阪)		238
小堀鞆音筆維盛哀別(美術展覧会列品。岳南・		
一曲・暁鴉・日本画家・呑月)		244
今尾景年筆鴛鴦(美術展覧会列品。口上・破壊		
党・鳥屋・破壊嫌ひ・悪口・鼻負・呑月)		245
大出東皐筆菊花争雀(絵画共進会列品。理屈家		
・画家・実利主義・江戸ッ子・評を評する人)		247
加藤彩溪筆江村驟雨(絵画共進会列品。岳南・		
一曲・冷淡・〇〇)		249
雜 録		
経営談(作者経営の苦心談) 著聞堂主人〔森鷗外〕		251
春暖第一 西郷孤月氏		
来書一則		
待風郎		

真面目の作家にあらざれば真面目の作は出だし
難く云々

252

雜観(八件)

潮音軒・晩香園・無記菴

滑稽・風刺画の勃興を望む事〈晩〉

253

今時評者の裸体画に対する汎論・通論〈晩〉

253

西洋彫刻家の奮励一番を期待する事〈晩〉

254

展覧会出品撰択における美術学校派等の党閥の

弊〈無〉

254

裸体画の猥褻と不猥褻、美的価値〈無〉

257

岡倉覚三、近時『太陽』誌上に美術論を發表の

事〈無〉

258

時事(十一件)

仏国博覧会出品の建築・室内飾

258

京都後素青年会の発会

259

●第五号(明治三十一年一月五日)

265

作品

「片瀬川の夏時雨」

久米桂一郎 269

「池畔納涼」

藤島武二 271

「孤猿待月」

竹内棲鳳 273

「秋暮」

山田敬中 275

「致城帰途」

島田墨仙 277

「木枯」

渡辺香涯 279

「観音」

米原雲海 281

論説

日本絵画に就いて(二)

末松青萍口述・伊内太郎速記 283

藝用解剖学(一) 无名氏〔久米桂一郎・森鷗外〕

283

緒言 藝用解剖学の起源及沿革

295

史伝

西洋美術史(五) 小亜細亞諸国・フヨニチャ、希

伯来、及リヂヤ

伯来、及リヂヤ

無名氏 300

批評

無扉門(糕阪・角丸・暁鴉・醉壺・一曲・岳南・

呑月)

久米桂一郎筆片瀬川の夏時雨(白馬会列品。岳

南・酔壺・氣にする人・□○・無学者)

藤島武二筆池畔納涼(白馬会列品。わる口・氣

を揉む人・暁鴉・糕阪・江戸子・野次馬・

批評家)

竹内棲鳳筆孤猿待月(美術展覧会列品。わる口

・鼯鼠・一曲・素人・浅草奥山の木戸番・□

○)

山田敬中筆秋暮(美術展覧会列品。鼯鼠・反対

者・ぼかし嫌ひ・公平家・暁鴉・皮肉・□

○)

島田墨仙筆致城帰途(絵画共進会列品。鼯鼠・

一曲・ブチ壊し・糕阪・□○・□○の孫・□

○・馬脚評者・皮肉)

渡辺香涯筆木枯(絵画共進会列品。口上・冷淡

家・悪口・雷同家・第二の雷同家・岳南)

324

321

319

316

314

313

雑録

米原雲海作観音(青年彫塑会列品。老僧・俗人

・果断家・医者・説明者・暁鴉・賛成家・想

髓論者・呑月・□○)

325

雑感(四件)

晚香園・潮音軒・無記菴

審査情実の事〔有栖川宮像摸型競技に藤田文蔵

が負けた事〕〈無〉

328

評者の漠然たる美術評語を難ずる事〈無〉

329

美術品と建築物の關係〈無〉

329

外山博士の美術史編述に関する意見に賛意を表

明〈無〉

329

時事(六件)

伊国美術博覧会で売れた日本画

329

日本画会結成

330

京都美術協会が新古美術品展覧会を開催

330

京都彫技会を組織

330

大蘇芳年の七回忌に百花園に石碑建立

330

●第六号(明治三十一年一月二十日)

作品

「聴法」

横山大観

335

「師長」

村田丹陵

341

「春晨」「秋夕」

結城素明

343

「秋の並樹」

ロドルフ、ウキツマン

345

「薄氷」

和田英作

347

「苦行」

渡辺長男

349

論説

藝用解剖学(二) 緒言

无名氏

351

史伝

西洋美術史(六) メヂヤ及波斯

无名氏

359

崎陽画家略伝

今井孝寛

371

批評

無扉門(糕阪・角丸・曉鴉・酔壺・一曲・岳南・

呑月)

横山大観筆聴法(絵画共進会列品。岳南・曉鴉

・西洋絵(酔)かき・一曲・苦勞性・悪口・□○・

物識り顔・糕阪・皮肉・無精者・宝物掛・故

実嫌ひ・人真似(岳)

381

村田丹陵筆師長弾弦(絵画共進会列品。岳南・

一曲・□○・糕阪・冷淡(晩)

389

結城素明筆春晨、秋夕(絵画共進会列品。岳南

・一曲・歌の判者・□○・曉鴉)

391

小坂象堂筆悩魔断滅(絵画共進会列品。三九三

頁に写真図版。口上・悪口・砂糖屋・アマノ

ジャク・人真似(岳)

392

ロドルフ、ウキツマン筆秋の並樹(白馬会列品。

口上・岳南・一曲・□○・酔壺・野次馬・

西洋通(晩)

394

和田英作筆薄氷(白馬会列品。岳南・一曲・

賛成者・□○・曉鴉・酔壺)

396

小林万吾筆干潮(白馬会列品。三九八頁に写真

図版。 岳南・□○・暁鴉・酔壺)

長原孝太郎筆雪景(白馬会列品。 三九八頁に写

真図版。 一曲・糕阪・暁鴉)

渡辺長男作苦行(彫塑会列品。 岳南・一曲・□

○・暁鴉)

雑 録

雜観(十件) 潮音軒・晩香園・無記菴

岡倉覚三の「明治三十年の美術界」〈無〉

日本画会〈無〉

憐むべきは靉音、敬中、広業の諸氏〈無〉

その作を以て、その作者のその時までの成果と

見て評すること〈無〉

画家の品格〈無〉

美術教育施設の貧しい現状〈無〉

「明治三十年の美術界」と称する一文氾濫〈無〉

刀剣は非美術なり〈潮〉

藝術の各々守るべき範囲〈潮〉

時事(四件)

野村文挙、望月金鳳等の發起したる日本画会の

設立旨意書

日本美術協会

今泉雄作、河瀬秀治等美術談会を創設

今泉雄作、京都美術工芸学校長を辞任し上京

●第七号(明治三十一年二月五日)

作 品

「常世」 小堀靉音

「家鴨」 川合玉堂

「枯野」 岡田秋嶺

「芍薬」 ジュリエット、ウキツマン

「蟬捕り」 小林万吾

「鉄枴」 山崎朝雲

論 説

藝用解剖学(三) 緒言 无名氏

史 伝

西洋美術史(七) 希臘・希臘藝術前期 無名氏 435

江戸文人寿命附 平亭〔畑〕銀鷄 449

批評

無罪門(糕阪・角丸・曉鴉・酔壺・一曲・岳南)

小堀鞆音筆常世(絵画共進会列品。最眞・憎

まれ者・皮肉者・百姓甲・百姓乙・これを

聴く人・歴史家・理屈家・傍聴人・理屈家・

常世の性霊・理屈家・駄評・出志やばり・糕

阪) 458

川合玉堂筆家鴨(絵画共進会列品。岳南・邪推

・□○・糕阪・文学士・曉鴉・西京の男) 462

岡田秋嶺筆枯野(絵画共進会列品。岳南・一曲

・□○・俳諧師・雷同) 464

大森敬堂妙音(絵画共進会列品。四六六頁に写

真版。口上・あげ足取り・□○・感心した

がる者) 465

尾竹竹坡筆和楽(絵画共進会列品。四六九頁に

写真版。口上・口悪男・□○・真面目に

怒る男・風俗掛) 468

ジュリエット、ウキツマン筆芍薬(白馬会列品。

口上・一曲・□○・西洋通) 470

小林万吾筆蟬捕り(白馬会列品。岳南・日本

画かき・□○・曉鴉・糕阪) 471

安藤伸太郎筆郊外(白馬会列品。四七二頁に写

真図版。□○・曉鴉) 471

小代為重筆芝浦の砂魚つり(白馬会列品。四七

二頁に写真図版。口上代り・糕阪) 472

山崎朝雲作鉄枴(彫工競技会列品。口上・一曲

・□○・素人・糕阪・最眞) 473

雑 録

雑感(十二件) 晩香園・潮音軒・無記菴

絵画協会に次いで彫塑会尽力の岡倉氏〈無〉 474

林忠正、作者が美学を知らざるべからざるを説

く〈無〉	474
美術団体濫觴は慶すべきか、弔すべきか〈無〉	474
白馬会のみ審査なく、情実なし〈無〉	474
現今の流派のあいまいさ〈無〉	475
美術学校教室における生徒の乱雑懶惰は改めざるべからざる事〈無〉	475
知らざる事は斯道の識者に問へ〈潮〉	476
日本絵画協会の審査に技術と意匠の区別あるは訝しき事	477
技芸家に学問不要を唱える者の多きは間違いである事	477
こころ正しかりし人の描く仏画	478
来書一則〔福地天香「美術図案」の反論〕	478
時事(十二件)	1々子
岡倉覚三彫刻界を振はしめんとの小集	480
遂初会第一回	480
日本漆工会	481

日本美術協会一月常会	481
同会絵画研究大会	481
東京彫工会	481
長沼守敬氏帰国	481
西郷隆盛像完成	481
岩村通俊氏計画の先賢肖像彫刻	481
京都後素協会	481
京都美術協会の新古美術品展	482

美術評論 第二卷目次

第八号(明治三十一年二月二十日)

作品

「猿舞はし」(一双)

橋本雅邦 6

「蜻蛉」

寺崎廣業 9

「春暖」

西郷孤月 11

「ブラバンの夕暮」

ロドルフ、ウキツマン 13

「森戸の晩景」

湯浅一郎 15

「老爺」

渡辺長男 17

論説

藝用解剖学(四) 緒言

无名氏 19

史伝

西洋美術史(八) 希臘藝術前期

无名氏 27

批評

無扉門(糕阪・角丸・暁鴉・酔壺・一曲・岳南)

橋本雅邦筆猿舞はし(絵画共進会列品。口上・

凡眼・禅僧・名人・□○・道具屋・暁鴉・

解剖家)

寺崎廣業筆蜻蛉(絵画共進会列品。口上・野暮

・皮肉・岳南・身ノ上遠慮・□○・洋行帰り

・不平家)

西郷孤月筆春暖(絵画共進会列品。口上・無学

者・岳南・薄情者・小理屈家・大理屈家・

傍聴人・大理屈家・従軍者・暁鴉・彌次馬)

岡田秋嶺筆実景四図(絵画共進会列品。五五頁

に写真図版。写生家・墨絵嫌ひ・□○)

ロドルフ、ウキツマン筆ブラバンの夕暮(白馬

会列品。鼻 ^(岳) ・素人 ^(角) ・日本人 ^(角) ・説明 ^(旁)	56
黒田清輝筆湖辺の朝霧(白馬会列品。五七頁に写真図版。素人 ^(岳) ・□○・例の理屈家 ^(角) ・油絵 ^(晩) かき)	57
湯浅一郎筆森戸の晩景(白馬会列品。鼻 ^(岳) ・□○・曉鴉・酔壺)	57
久米桂一郎筆夕日の村徑(白馬会列品。五八頁に写真図版。頭取)	58
渡辺長男作老爺(青年彫塑会列品。岳南・彫刻家 ^(二) ・□○・曉鴉)	58
観賞録 橋本雅邦筆猿まはし 寺崎廣業筆蜻蜒 西郷孤月筆春暖	59
香雪・廉窩・談峯	
岡田秋嶺筆妙義山碓氷川蜘蛛が淵落合川 ロドルフ、ウキツマン筆ブラバンの夕暮 黒田清輝筆湖辺の朝霧	66

湯浅一郎筆森戸の晩景	66
久米桂一郎筆夕日の村徑	67
渡辺長男作老爺	67
雑録	

井蛙生の答について	68
自然堂	
雑感	
晩香園・潮音軒・無記菴	

下村觀山の「早稲田文学」第五号「画界新彩」での弁に対する批判〈無〉	70
-----------------------------------	----

菱田春草の弁に対する批判〈無〉	73
時事(五件)	

巴里万国博覧会出品作品について	78
加納夏雄履歴	79

●第九号(明治三十一年三月五日)	85
------------------	----

美術評論の改良広告(第十号より月二回発行を改め月一回十日発行とし、作品図版を写真版にかえてアートタイプ印刷とする)

作品

〔嗣信〕

下村観山

91

〔秋霧〕

小林呉嶠

93

〔曉望富嶽〕

村田丹陵

95

〔虫の音〕

松里政登

97

〔谷村計介〕

小坂象堂

99

〔秋草〕

黒田清輝

101

〔初春の麦圃〕

白瀧幾之助

103

〔杉の森〕

北蓮蔵

105

〔高僧〕

野口藤三郎

107

論説

普通教育の絵画

自然堂

109

〔毛筆画と鉛筆画の優劣を論じ、あらためて普通教育に鉛筆画を採用すべし事〕

史伝

西洋美術史(九) 希臘の建築

無名氏

112

批評

無扉門(糕阪・角丸・曉鴉・醉壺・一曲・岳南)

下村観山筆嗣信最期(絵画共進会列品。口上・

悪まれ口上・大の鼻負・悪口・頭取・真面目

・真面目な鼻負・皮相家・□○・曉鴉・飛

入・冷淡・細かき人・激列家・さし出)

小林呉嶠筆秋霧(絵画共進会列品。岳南・賞牌

論者・□○・曉鴉・飛入・西京の男)

村田丹陵筆曉望富岳(絵画共進会列品。駿河者

・骨惜み・尻馬・□○・小供・爺・お山)

松里政登筆虫の音(絵画共進会列品。悪口・□

○・岳南)

河村謙吉筆少將軍(絵画共進会列品。一三五頁

に写真図版。聞かじり・□○・曉鴉・岳南

・飛入)

小坂象堂筆谷村計介(絵画共進会列品。鼻負・

第二の鼻負・□○・曉鴉・落ちつきはらつた

人・深窓の姫君)

黒田清輝筆秋草(白馬会列品。悪口・不賛成・ ○・曉鴉・岳南・飛入・氣にする人) 白瀧幾之助筆初春の麦圃(白馬会列品。百姓・ □○・曉鴉・合点よき人) 北蓮蔵筆杉森(白馬会列品。冷淡・真面目・ ○・曉鴉) 和田英作筆貝拾ひ(白馬会列品。一四〇頁に写 真図版。○□○・曉鴉・画ずき・形式家) 小代為重筆江の浦の夕月(白馬会列品。一四〇 頁に写真図版。□○・曉鴉) 野口藤三郎作高僧(青年彫塑会列品。岳南・ 狡猾者・悪口・□○・気早者・冷淡・優しく 慰める人・悪口) 鑑賞録 嗣信最期 曉望富嶽 虫の音	136 139 139 139 140 140 140 142 146 147
--	--

少將軍 谷村計介 秋草 初春の麦畑 杉の森 貝拾ひ 江の浦の夕月 高僧 雑録 滋賀の小波(滋賀名利宝物記) 漢竹(溝口楨次郎) 雜感(九件) 晩香園・潮音軒・無記菴 長沼守敬の伊太利美術博覧会視察談を読み (晩香園) 批評家の姿勢(〃) 美術の争いは技術の上ですべき事(〃) 加納夏雄の遺言(潮音軒) 西洋画家のモデルを使用することへの注意(〃)	147 149 149 149 149 149 149 151 149 149 156 157 158 158 159 159
---	--

古物かぶれの蒙を戒める(〃)

159

「國華」の套語陳列もいまさらの感(無記菴)

160

時事(十二件)

日本画展覽会開催の予定

161

遂初会第二回展

161

錦巷雜綴第九号

161

日本画会展覽会

162

美校卒業生彫刻協会結成

162

日本美術協会会員諸氏

162

原古玩氏古稀祝宴

162

●第十号(明治三十一年四月二十日)

165

作品(本号よりアートタイプ刷となる)

「野狐」

竹内棲鳳

171

「水鏡」

菱田春草

173

「秋思」

立松輝石

175

「棧道高秋」

内海吉堂

177

「空山染月」

山元春举

179

「小原女」

河合玉堂

181

「曙」

安藤仲太郎

183

「魚壳」

北蓮藏

185

論説

普通教育の絵画(承前)

自然堂

187

史伝

西洋美術史(十) 希臘の建築

無名氏

190

批評

無扉門(糕阪・角丸・曉鴉・醉壺・一曲・岳南)

竹内棲鳳筆野狐(絵画共進会列品。一曲・考へ

家・没骨家・□○・飛入・口の中にて物言ふ

男)

196

菱田春草筆水鏡(絵画共進会列品。口上・口惡

・天人・岳南・皮肉・□○・洋画かき・尻

馬・形式家・飛入・図法家・冷淡)

198

尾形月耕筆菅公詠詩(絵画共進会列品。美術画

報四の八に図版。疑深き人・悪口・鼯負・平氣・こまかき人・冷淡・曉鴉	203
立松輝石筆秋思(絵画共進会列品。口わる男・皮肉・文晁派・人形師・□○・邪推する人・畫報社会計・同店番)	204
内海吉堂筆棧道高秋(絵画共進会列品。口上・絵かき・文人・南画嫌ひ・真面目)	205
山元春挙筆空山染月(絵画共進会列品。一曲・京女・□○・尻馬・冷淡・曉鴉)	206
河合玉堂筆小原女(絵画共進会列品。一曲・鼯負・疵をさがす人・飛入・皮肉・弥次馬)	207
森川曾文筆波に千鳥(美術協会三十年秋季展列品。美術画報四の八に図版。鼯負・雷同・□○・曉鴉)	208
安藤仲太郎筆曙(三十年白馬会列品。素人・第二の素人・□○・くろふと・曉鴉)	209
北蓮藏筆魚壳(三十年白馬会列品。素人・第二)	

の素人・肴屋・飛入・おさん・曉鴉	209
藝品	
不由・非淵・岡古(大村西崖)	
雪舟	210
雜錄	
滋賀の小波(二)	219
溝口漢竹	
雜感	
晚香園・潮音軒・無記菴	
村田丹陵氏の習画小訓批判(無)	224
和洋画の折衷(無)	227
フエノロサ氏の裸体画論批判(無)	229
林忠正氏が美術と工芸の区別(無)	230
時事(十三件)	
九鬼隆一臨時博覧会副總裁辭任	231
岡倉覚三帝国博物館理事兼美術部長辭任	231
月岡芳年碑文	231
日本美術協会總會	232
東京彫工会總會	232
日本絵画協会月例会	233

杉谷雪樵追善会

岡倉覚三美術学校長辞任の事

●第十一号(明治三十一年五月十日)

作品

「木曾八勝図」(巴が淵・鳥居嶺・寢覚・三富野・
棧道旧蹟・小野の滝・福島・落合川)

川端玉章 245

「牛肉店」

長原孝太郎 253

「化粧」

白瀧幾之助 255

「母子」

黒田清輝 257

「肖像」

藤島武二 259

論説

藝用解剖学(五) 序論

无名氏 261

史伝

西洋美術史(十一) 希臘の建築

無名氏 264

狩野芳崖略伝

岡倉秋水 271

夢のたぐち〔昔ありける画かき人の伝〕

故無名氏〔堀直格〕

273

批評

無扉門(糕阪・丸々・曉鴉・酔壺・一曲・岳南)

川端玉章筆木曾八勝(第三回絵画共進会列品。

大の鼻負・一曲・人品論者・骨法論者・岳南

・飛入・○○・極の写実家・曉鴉・酔壺)

282

石川光明作しやも(美術協会展列品。美術画報

四の八に図版。シヤモ屋・鳥屋・鼻負・尻馬

・鳥屋の丁稚・彫刻師・公平・マテリアリス

ト)

288

大庭学仙筆呂洞賓(美術協会展列品。美術画報

四の八に図版。悪口・文学者・審査員・皮肉

・岳南・○○)

289

長原孝太郎筆牛肉屋(白馬会展列品。俗人・糕

阪・○○・曉鴉)

290

白瀧幾之助筆化粧(白馬会展列品。鼻負・飛入

・糕阪・○○・お袋・真面目・画かきの獨り言)	291
黒田清輝筆母子(白馬会展列品。素人・黒人・日本画家・糕阪・○○・油絵かき・くろろと)	292
藤島武二筆肖像(白馬会展列品。悪口・○○・油絵かき・素破抜き)	293
藝品 非淵・不由・罔古	293
光琳	293
雑録	
滋賀のさざなみ(三)	301
溝口漢竹	301
ヴェニス博覧会日本部景況	305
ギョオム、ベルシエ、	305
時事(五件)	
四月黒田清輝・荒木寛畝の二氏美校教授に就任	311
明治美術会創立十年紀念祝賀会	312
第四回絵画共進会受賞者	312

京都南画協会展	312
日本画会展	312

●第十二号(明治三十一年七月二十一日)

作品

「小浜の晩濤」	久米桂一郎	323
「春の浜辺」	白瀧幾之助	325
「郊外の小春」	小林万吾	327
「晩帰」	広瀬勝平	329
「養雞」	小坂象堂	331
「秋致」	渡辺啓三	333
「春雨」	木村信太郎	335
「小町」	下村観山	337
論説		
藝用解剖学(六) 骨論	无名氏	339
洋画手引草	糕阪・曉鴉・醉壺・岳南	344
緒言、術語、素描		344

史 伝

西洋美術史(十二) 希臘建築遺迹 無名氏 352

夢のたゝち(二) 故無名氏 362

批 評

無批門(糕阪・○○・暁鴉・酔壺・一曲・岳南)

久米桂一郎筆小浜の晚濤(○○・楽屋内・画題

に構はぬ男・岳南・尻馬・皮肉) 367

白瀧幾之助筆春の浜辺(一曲・岳南・糕阪・暁

鴉・酔壺) 369

小林万吾筆郊外の小春(○○・暁鴉) 370

広瀬勝平筆晚帰(酉・暁鴉・悪口) 370

小坂象堂筆養雞(感心がる男・岳南・○○・糕

阪・暁鴉・大の賛成家・大の折衷嫌ひ) 371

渡辺啓三筆秋致(一曲・岳南・○○・糕阪・暁

鴉・理屈) 374

木村信太郎筆春雨(一曲・岳南・○○・乱舞家

・暁鴉) 375

下村観山筆小町(一曲・岳南・○○・暁鴉) 376

小堀軀音筆内野の雪(美術画報四の十に図版。

一曲・皮肉・○○・理屈家) 377

笹井英昭筆楠公(美術画報四の十に図版。口上

・田紳・幫間・糕阪・岳南) 378

雑 録

滋賀の小波(四) 溝口漢竹 379

時事(十三件)

佛国巴里大博覧会出品に関する規則の一部変更 384

黒田氏の裸体画掲載により五月六日美術評論第

二号発売禁止 385

明治美術会展も裸体画陳列禁止 385

今泉雄作・香川勝広・海野子之吉の三氏東京美

術学校教授に任命され岡崎雪声依願免職 385

私立美術院を設けむ由 385

岡倉氏の辞任で中断の美術史編述近く再行

日本美術協会春季展 385

臨時博覧会事務局は美術品鑑査の規定を変更

日本画会第一回展 386

東京美術学校教課改良 386

●第十三号(明治三十一年八月二十四日)

第十二号より合本のため仮製とした事および『洋画

手引草』刊行の社告〔森林太郎・久米桂一郎・岩

村透・大村西崖同選とあり〕 393

作品

〔土製童子〕 浅井悦次郎 397

〔富士〕 野村文挙 399

〔韓退之〕 平福百穂 401

〔画室〕 川村清雄 403

〔江の浦の夏〕 久米桂一郎 405

〔浜辺の松原〕 小坂象堂 407

論説

藝用解剖学(七) 骨論 无名氏 409

洋画手引草(二) 彩画・油絵

糕阪・暁鴉・醉壺・岳南 418

史伝

西洋美術史(十三) 希臘建築遺迹の続 無名氏 430

夢のたゝち(三) 故無名氏 439

批評

無扉門(糕阪・○○・暁鴉・醉壺・一曲・岳南)

浅井悦次郎作童子(一曲・岳南・鼃負・むづか

しや・思ひ過ぎ・生意気) 443

野村文挙筆富士(一曲・岳南・暁鴉・悪口・尻

馬) 444

橋本雅邦筆山水(美術画報五の一に図版。冷淡

・生意気・理屈・悪口・暁鴉・山に千年海に

千年・むだ口・禅僧) 446

平福百穂筆韓退之(奨励家・尻馬) 447

川村清雄筆画室(素人・くろうとぶる人・暁鴉

・気むづかし屋・糕阪・杞憂家) 448

雑 録

久米桂一郎筆江の浦の夏(岳南・物質家・尻馬)

449

小坂象堂筆浜辺の松原(晩鴉・糕阪)

449

雑 感

潮音軒・晩香園・無記菴

東京美術学校の改革(岡倉更迭後の)

450

美術学校卒業生の精芸会と美術院に望むこと

450

新聞記者は虚脱を掲載すべからず

450

(以上晩香園)

美術学校教育法の改良の内容

451

美術院の教育部に流派的精神のあることに不同

意なり

452

流派的精神は色盲なり

(以上無記菴)

452

時事(十三件)

野口幽谷六月二十六日没

453

日本画会展

453

私立美術院七月二日に開院式

453

東京美術学校卒業生

453

浅井忠・長沼守敬美校教授に新任

454

東京美術学校卒業生は精芸会を組織し、森林太

郎を会長に推す

454

美術評論 第三卷目次

●第十四号(明治三十一年十月三日)

作品

「明滅亡」

結城素明 7

「蘇武」

橋本雅邦 9

「秋夕」

木村信太郎 11

「人物」

渡辺審也 13

「林大尉戦死」

満谷国四郎 15

「肖像」

ラクウザ 17

「嬰兒」

米原雲海 19

論説

藝用解剖学(八) 骨論

21

史伝

西洋美術史(十四) 希臘建築遺迹

26

批評

野口幽谷先生小伝

加部巖夫(誤記)

33

山口古菴伝(付古菴筆「油絵人物」図版)

「森鷗外」

35

夢のたゝち(四)

故無名氏

36

無扉門(糕阪・暁鴉・酔壺・一曲・岳南・左人)

結城素明筆明滅亡(第四回絵画共進会列品。悪

る口・差しで口・建築師・狂歌師・蟲負・傍

観者・蟲負)

46

橋本雅邦筆蘇武(第四回絵画共進会列品。暁鴉

・悟道・糕阪・鼓韵・禅僧)

46

木村信太郎筆秋夕(第四回絵画共進会列品。暁

鴉・洋画家・一曲・計算家・一寸分つた人・

故実家・甘心)

47

渡辺審也筆人物(明治美術会十年展列品。暁鴉

・ 酔壺・尻馬・さし出)	48
満谷国四郎筆林大尉戦死(明治美術会十年展列品。暁鴉・岡目・野次馬・不賛成・糕阪)	49
ラクウザ作肖像(美術協会三十一年列品。暁鴉・真面目・信者・大彫刻家・冷語・岳南)	50
米原雲海作嬰兒(美術協会三十一年列品。大の不賛成・好人物・無駄口・生意氣・尻馬・又)	51
雑録	
滋賀の小波(五)	52
溝口漢竹	
時事(五件)	
東京美術学校人事	63
同校彫刻にモデル写生	64
●第十五号(明治三十一年十月二十七日)	
作品	
「木彫錦織俊政」	75
荒川嶺雲	
「牙彫鷺」	77
石川光明	

「木彫童子彈琵琶」	竹内久一	79
「孔雀」「五月雨」	小林吳橋	81
「晚帰」	小坂象堂	85
「塩津港の朝暾」	高橋節雄	87
論 說		
ロオゼンクランツ Rosenkranz の絵画題別論(一)		
自然美	〔森鷗外〕	89
形式美	〔大村西崖〕	95
	〔同〕	101
美の受用	〔同〕	105
史 伝		
西洋美術史(十五)	希臘の彫塑	無名氏
希臘諸神伝(一)	〔森鷗外・大村西崖〕	112
批評		
無扉門(糕阪・暁鴉・酔壺・一曲・岳南・左人)		
荒川嶺雲作錦織俊政(美術協会春季展列品。悪		
口・狸・雷同・木彫家・岳南・糕阪)		115

石川光明作鷺(美術協会春季展列品。 暁鴉・ 讃々・雷同・讃々々・粘土家)	117
竹内久一作童子弹琵琶(美術協会春季展列品。 神童嫌ひ・短気・公平・洋行帰リ・医者)	117
小林呉嶠筆孔雀(絵画協会第四回列品。 暁鴉・ 無駄口・交ぜ返し・仲裁・老人)	118
小林呉嶠筆五月雨(絵画協会第四回列品。 悪口 ・鼠負)	119
小坂象堂筆晚帰(明治美術会十年展列品。 暁鴉 ・不減口・酔壺・酔壺・描法家・公平家・岳 南・糕阪)	119
渡辺審也筆猿曳(美術画報に図版。 明治美術会 十年展列品。 暁鴉・酔壺・素人・岳南・糕阪)	120
高橋節雄筆朝暾(明治美術会十年展列品。 暁鴉 ・真面目・日本画家・糕阪)	121
藝 品 応 挙	122
〔大村西崖〕	

雑 録

妙々奇談 周滑平 ^{ナカツベ} 先生著 五覧通・曇無鏡編集	125
序・米芾冒山玄・紫石糺写三	
ぬきがき草子	
〔大村西崖〕	
竹田山陽の製作評賞に深く相知れること	130
木米の竹田山陽を相知れること	131
高野山の巡寺八幡講における阿弥陀来迎図	132
南紀鳥屋城村小川薬王寺の阿弥陀坐像	133
寂寂昭事歴	133
新聞雲屏事歴	133
時事(六件)	
長原孝太郎東京美術学校助教教授任命	134
美術学校日本画科改良	134
日本美術院新築開院式	134
附・美術評論第一卷(自一号至十号)索引	135

●第十六号(明治三十一年十一月二十五日)

作品

〔昔語り〕

黒田清輝 155

〔片瀬浜砂山〕

久米桂一郎 157

〔妙義山〕

満谷国四郎 159

〔村落〕

都鳥英喜 161

〔蜀黍〕

高橋応真 163

〔霜朝〕

福井江亭 165

〔桜小禽〕

戸田玉秀 167

論説

藝用解剖学(九) 骨論

无名氏 169

美を成さざる境

〔大村西崖〕 178

美を成す境

〔同〕 181

史伝

希臘諸神伝(二)

〔森鷗外・大村西崖〕 185

田崎草雲翁小伝

190

批評

無厘門(糕阪・暁鴉・醉壺・一曲・岳南・左人)

黒田清輝筆昔語り(明治三十一年白馬会列品。

くろうと・鼯負・鼯負の一人たる糕阪・不鼯

肩・日本画家・裸体嫌ひ)未了

191

久米桂一郎筆片瀬浜砂山(明治三十一年白馬会

列品。学者・聴講者・悪口)

193

吉田博筆雲(美術画報五の五に図版。明治美術

会十年展列品。真面目・理屈家・第二の真面

目・鼯負・非理屈)

193

満谷国四郎筆妙義山(明治美術会十年展列品。

冷淡・歴史家・著述家・真面目・理屈)

194

都鳥英喜筆村落(明治美術会十年展列品。物質

家・悪口)

195

尾形月耕筆文化ごろの日本橋(美術画報五の四

に図版。日本絵画協会第四回展列品。暁鴉・

氣にする男・賛成者・不賛成)

195

福井江亭筆霜朝(日本絵画協会第四回展列品。

悪口・鼯負)

196

戸田玉秀筆桜に小禽(日本絵画協会第四回展列

品。悪口・鼯負)

196

高橋応真筆玉蜀黍(日本美術協会明治三十年展

列品。大賛成・鼯負)

196

藝品

〔大村西崖〕

奈良の彫塑

197

絵巻物

201

雑録

二十四画品

清 黄鉞

205

二十四詩品

唐 司空図

207

藝苑饒舌(十六)〔十五までは読売新聞〕

無記菴

210

無色斎主人の美術論

210

高山林次郎氏の画題論

211

展覧会の写真帖

211

像設卑見

211

ぬきがき草子

214

社告〔次号より「美術問答」を掲載〕

218

●第十七号(明治三十二年一月九日)

作品(全て日本画会戊戌展列品)

〔新緑〕

結城素明

229

〔秋叢〕

菊池芳文

231

〔暄暖〕

本多万翠

233

〔孤鹿〕

竹内棲鳳

235

〔紫茄孤虫〕

荒木寛畝

237

〔水墨山水〕

山田敬中

239

〔猛虎〕

大橋翠石

241

論説

藝用解剖学(十) 骨論

无名氏

243

ロオゼンクラントの絵画題別論(二)

〔森鷗外〕

252

美の成立

〔大村西崖〕

255

史伝

西洋美術史(十六)・希臘の彫塑 無名氏 257

批評

無扉門(糕阪・曉鴉・醉壺・一曲・岳南・左人)

結城素明筆新緑(素人・又素人・第三の素人・

くろうと・摸稜子・第二のくろうと・向正

面) 271

菊池芳文筆秋叢(醉壺・素人・不感服・仲裁・

感服者・糕阪) 274

本多万翠暄暖(素人・又素人・彌次馬・学者・

鼯負・日本画通・自然派・評の評者・糕阪の

素人) 276

竹内棲鳳筆孤鹿(田舎者・都人・たゞの人、雷

同・しやれ者) 277

荒木寛畝筆茄と虫(鼯負・冷淡・真面目・公平)

山田敬中筆水墨山水(曉鴉・画界通・川柳者) 278

大橋翠石筆虎(物質家・評判・果断家・冷笑者) 279

雑録

美術問答

曼荼羅法とは如何 279

自然を写せる絵画と写真と何故に写真は絵画の

領を侵すこと不能 280

水彩画手本 281

純正美術の定義と由来

尾竹国観の作品良非如何 282

等伯画説 283

寺社宝物展覧目録 目録仕立凡例

柴野栗山・住吉広行 291

●第十八号(明治三十二年三月五日)

作品

「母子」 山崎朝雲 303

「童と犬」 米原雲海 305

「雅曲」 ラファエル、コラン 307

「残曠」 久米桂一郎 309

「富士川の富士」	和田英作	311	景好き・岳南	344
「夏の月」	川端玉章	313	和田英作筆富士川の富士(三十一年白馬会列品。	
「瀑布」	福井江亭	315	専門家・岳南)	
論説			川端玉章筆夏の月(口上・不熱心・くろうと)	346
藝用解剖学(十一) 骨論	无名氏	317	福井江亭筆瀑布(鼯負・苦言)	346
ロオゼンクランツの絵画題別論(三)	〔森鷗外〕	328	橋本雅邦筆梅と竹(日本美術一に図版。団子坂	
史伝			の植木屋・ひやかし・駄洒落・山の神・皮肉	
西洋美術史(十七) 希臘の彫塑	無名氏	331	・こけ・果斷家)	346
批評			横山大観筆屈原(日本美術一に図版。慷慨家・	
無扉門			潔癖・食損人・屈原の霊)	347
山崎朝雲作母子(親切者・大鼯負者・賛成・岳			山田敬中筆立田姫(日本美術一に図版。大賛成	
南)		340	・半賛・不賛成)	348
米原雲海作童と犬(短気者・鼯負・小供嫌ひ・			高橋応真筆菊(日本美術一に図版。鼯負・大賛	
不賛成)		343	成・岳南)	349
ラファエル、コラン筆雅曲(三十一年白馬会列			菱田春草筆(日本美術一に図版。暁鴉・左人・	
品。口上・感心)		344	皮肉)	349
久米桂一郎筆筆残囃(三十一年白馬会列品。風			寺崎廣業筆後赤壁(日本美術一に図版。頓珍漢	

・素人・岳南)	349
下村観山筆闇維(日本美術一に図版。素人・佛嫌ひ・形式家)	350
藝品	
兆殿司	351
平子秋萩	
雑録	
美術問答	
龍丘派の来歴	353
禅学は美術家に必要なるや否や	354
現今本邦の美学及美術史の著書	356
現存美術家の人物評は不要	356
美術は国民の花なるや否や	357
画は外見さへ善くば宜しきや否や	358
本邦画は如何なる趣味を現さば可ならん	358
点景とは	359
美術家と社会の関係	359
彫刻刀法	360

佛国及英国発行の絵画研究書籍と藝用解剖学の書籍	361
東京美術学校の学科程度低きため洋画志望の小生如何すべきや	363
寺社宝物展覧目録(二) 山城上 柴野栗山・住吉広行	364
●第十九号(明治三十二年四月十五日)	
作品	
「夏の野」	ラファエル、コラン 379
「肖像」	黒田清輝 381
「野辺」	小坂象堂 383
「秋草」	野口小蘋 385
「月夜嵐峽」	鈴木松僊 387
「農婦」	月谷はつ女 389
「少女」	北村直次郎 391
論説	
藝用解剖学(十二) 骨論	无名氏 393

史 伝

西洋美術史(十八) 希臘の彫塑 無名氏 400

批 評

無扉門(糕阪・暁鴉・酔壺・一曲・左人・岳南)

ラファエル、コラン筆夏の野(鼯負・物質家・

暁鴉) 405

黒田清輝筆肖像(岳南・酔壺) 406

小坂象堂筆野辺(岳南・無神經・不感服・横槍

・仲裁) 407

野口小蘋筆秋草(岳南・雷同) 410

鈴木松僊筆月夜嵐峽(岳南・皮肉・鼯負・第二

の鼯負) 410

月谷はつ女作農婦(岳南・無神經・冷淡) 411

北村直次郎作少女(岳南・塑造ずき・不愛想) 411

雜 録

西洋雑事

グライソン、ホワイト氏 412

レムブラントの作品展覽会 413

美術問答

江戸期の油絵と明治美術会派の脂色絵やにいろあと白馬会

派の紫色絵の違い 414

現今洋画において新派と旧派のいづれを取るべ

きや 414

画論にいう市氣・俗氣・霸氣とは 416

作画上写生かコロモチかいづれを取るべきや 417

歴史画の表現は人物か事実の表現か 417

自然の形相と現前の実の違い 418

輪翁画譚(一) 屋代弘賢 419

寺社宝物展覧目録(三) 柴野栗山・住吉広行 430

美術評論 第四卷目次

●第二十号(明治三十二年六月七日)

作品

「道臣命」 加藤景雲 5

「酒掃」 山崎朝雲 7

「渡し場」(一双) 結城素明 9

「人物」 ラファエル、コラン 13

「母子」 メリイ、カザット 15

論説

藝用解剖学(十三) 骨論 无名氏 17

史伝

西洋美術史(十九) 希臘の彫塑 无名氏 22

批評

無扉門

雑録

美術問答

卑近の物でも心を描出せば美術と称すべきや 36

理想画と写生画の優劣如何 39

花鳥画の変遷と将来 39

画談 菊地容斎 42

輪翁画譚(二) 屋代弘賢 49

加藤景雲作道臣命(悪口・疑惑家・奨励家) 31

山崎朝雲作酒掃(人形嫌ひ・真面目・鼻負) 32

結城素明筆渡し場(理論家・自然家・哲学者) 32

ラファエル、コラン筆人物(三十一年白馬会列

品。暁鴉・門人・因果論者) 34

メリイ、カザット筆母子(三十一年白馬会列品。

口上) 35

寺社宝物展覧目録(四)山城 柴野栗山・住吉広行 59

●第二十一号(明治三十二年九月十三日)

社告(大村西崖に代って吉岡芳陵が主筆となり、体裁の大きさと共に記事も大分の変化が行われた) 72

作品

「景色」「雞」 河村清雄 75

「萩に鶉」 滝和亭 79

「川口の船」 小代為重 81

「草花」 山本森之助 83

絵画の発達と視感の関係 久米桂一郎 85

偶感 芳陵 91

批評

無扉門(曉鴉・酔壺・岳南・白王・容牛・叶丸)

河村清雄筆景色(口上・正直者・慷慨家・鼯負

・豆大生・遠眼鏡・自然生・日本画かき) 92

河村清雄筆雞(悪口・黒人・無口・世間見ず・

江戸ツ子・手伝嫌い・大無遠慮・口上) 94

滝和亭筆萩花鶉図(口上・無遠慮・おとなしや

・真面目・大無遠慮・鼯負・交ッ返し) 95

小代為重筆川口の船(専門家・賛成・反対・自

然美・難癖言ひ) 97

山本森之助筆林間草花(地理学者・調色家・自

然家) 97

藝用解剖学(十四) 骨論 无名氏 98

都下社寺美術巡覧 [飯島]虚心生 106

国芳の一家(落合芳幾翁の話)[図版一丁] 108

浅草観音堂の額と『美術評論』 112

佛国美術の来歴を述べて現今の状況を評す(一)

フエリックス、レメガー演述 113

時文

我美術と巴里大博覧会

特権の収受、陳列の方法、日本古美術の標本、

過去帳的美術たらしむる勿れ 120

美術作品の鑑査〔巴里大博覧会出品作品〕

鑑査官、鑑査会の新組織、状況、及第の新標識

121

春蘭秋菊

名士と美術

126

意匠家排斥

126

長沼と高山

126

新聞美術論

126

派遣美術家

126

鑑査の結果

127

美術院絵画

127

玉章四大作

127

雅邦の竜虎

127

各評三十点

127

裸体画再現

127

雅邦対岡倉

128

岡倉対雅邦

128

彼十六羅漢

128

美術の刷新

審美綱領〔森鷗外辯論書簡〕

128

象堂遺芳

129

大庭学遷

129

彫刻競技〔第十四回彫刻競技会〕

129

美術協会

129

竹田居士

129

第二十号の「西洋美術史」図版

130

美術評論第二卷〔自第十一号至第二十号〕索引

133

●第二十二号〔明治三十二年十一月七日〕

作品

〔龍虎〕

橋本雅邦

149

〔湖畔驟雨〕

野村文孝

151

〔富嶽〕

山元春挙

153

〔寂寞〕

黒田清輝

155

〔少女抱猫〕

山崎朝雲

157

「御厩喜三太の図」	菊地容齋	159	フェリックス、レメガー演述	182
絵画の発達と視感の関係(二)	久米桂一郎	161	輪翁画譚(三)	188
批評家と技術家(一)	観堂学人〔岩村透〕	168	西洋雑事	
批評			露国にて「美術世界」発刊	193
無罪門(白王、○△・暁鴉・酔壺・左人・芳人)			白耳義プルニクセルにて水彩画協会三十九回展	194
橋本雅邦筆龍虎(口上・大無遠慮・鼯負・通人・真面目・皮肉・通人・口上)		173	同都にてセルクル、アルチスチック美術協会冬季展	194
野村文挙筆湖畔驟雨(穴探し・打壊し・医者・真面目・むだ口)		177	ゼロオムのオ、マアル公騎馬像 グスタヴ、モロオ展覧会	195
山元春挙筆富嶽(老婆心・非難家・賛成家・遠近生・詮索家)		177	英国にてパステル画協会結成 同展開催	195
黒田清輝筆寂寞(雑誌好・洋画通・鼯負)		178	同展出品作	196
山崎朝雲作少女抱猫(素人・玩具嫌ひ・鼯負者・批評家・素人)		179	時文	
都下社寺美術巡覧(二)			巴里万国博覧会に対する美術作品 第十四回彫刻競技会の鑑査	196
菊地容齋筆「御厩喜三太」に就いて〔飯島虚心〕		180	絵画展覧会と補充品 採定品淘汰策	198
佛国美術の来歴を述べて現今の状況を評す(二)				198

九鬼子の美術談	199
現代美術家の名譽	200
春蘭秋菊	
美術院展覽会	201
東洋歴史画題	202
白馬会展覽会	202
白耳義画家ウィツマン夫人	202
所謂第一流批評家	203
露佛非露佛	203
雜事片々	
巴里万博出品の帝室御物と帝室技芸員の作品	204
竹田六十五回忌法会	204
石見の大喜庵で雪舟忌	204
橋本雅邦展	204
彫工会十四回展	204
田崎草雲展	205
日本画会は懸賞画展開催	205

玉章、玉田東宮御所杉戸揮毫	206
白馬会・明治美術会陳列品の鑑査	206
浅井忠佛国留学	206
ドイツ在の和田英作佛国留学	206
読売の懸賞募集歴史画題作品	206
●第二十三号(明治三十三年一月五日)	
附 録 高嵩谷「頼政鶴之図」	213
新年社告	215
作 品	
「碓氷峠錦楓」	川端玉章 219
「春山花鳥図」	今尾景年 221
「浅草観音の光景」	田井月耕 223
「蓮池」	満谷国四郎 225
「盲人川を渡る」	高村光雲 227
和蘭土風景画家ロイスダエル筆図版(写真版)	229
十七世紀の和蘭土風景絵画(一)	鏡泉(岩村透) 231

批評家と技術家(二) 観堂学人 236

藝用解剖学(十五) 骨論 无名氏 241

批評

無罪門

川端玉章筆碓氷峠錦楓(公平・美術嫌ひ・素人

・真面目・○○・鼯鼠・賛成・アンチ形似家

・処世家) 250

今尾景年筆春山花鳥図(楽天主義・弥次馬・工

芸家・料理番・穴探し・かきわり屋・老人・

鼯鼠・配合家・推察家・比較家) 252

田井月耕筆浅草観音の光景(公平・無法者・鼯

鼠・職人・学生・理屈家・第二の理屈家・悪

口) 253

満谷国四郎筆蓮池(批評家・珍粉漢・鼯鼠・好

青家・真面目) 255

高村光雲作盲人川を渡る(悪口・穴探し・素人

・人形師・鼯鼠・心配家・理窟屋・上野の銅

像) 255

東京都社寺美術巡覧(三) 高嵩谷「鶴頼政の額」

飯島虚心 256

海外雑事

龍動水彩画展覧会

ジュール、ブレトン氏の名誉

閨秀審査委員の栄誉

仏国パステル画協会

和蘭大家作品展覧会

シャンゼリゼ展画館の水彩画会

万国博覧会の絵画部審査官

輪翁画譚(四)

屋代弘賢

時文

美術協会始めて誇色あり

絵画の鑑査申請

彫刻界の鑑査

昨秋美術界の観察

白馬会 268

美術協会 268

美術院展覧会 269

人物画と歴史画 271

新年漫録

久保田米斎 271

美術院と浮世絵 272

賞級席順の事を難す 272

美術院の拡張を賛す 273

岡倉氏自派の画を評す 273

京都絵画展覧会の濫觴 273

●第二十四号(明治三十三年三月三日)

作品

「猿」 望月金鳳 281

「樹下鹿」 森川曾文 283

「月下漁網」 鈴木華村 285

「風景」 久米桂一郎 287

「第六師団戦勝紀念標」 佐野昭 289

十九世紀佛国絵画の思潮 黒田清輝 291

十七世紀の和蘭土風景画家(二) 鏡泉 301

(ホベマ筆「ミツドルアニ村」写真図版) 303

批評

無扉門(白王・桜東・酔壺・左人・芳人)

望月金鳳筆猿(鼯鼠・アンチ形似家・動物

園の番人・第二の鼯鼠・無礼者・詮索家

・理窟家) 305

森川曾文筆樹下の鹿(大鼯鼠・京師派・骨

董屋・理窟家・眼科医者) 307

鈴木華村筆月下漁網(商人・訳知り・不平

家・後ろ向きの人・素人) 308

久米桂一郎筆風景(観光家・詮索家・風景

狂) 308

佐野昭作第六師団戦勝紀念標(口上・大鼯

眞・愛国士・愛技家・公平家・批評専門家)	309	美術校長	335
倫敦美術館の記	312	今後方針	335
燈下画譚 雪舟	316	天平古画	335
我石半仙	316	史画編纂	335
東都社寺美術巡覧(四) 高嵩溪「狸々舞の額」	319	北斎絵画	335
時 文		北斎画評	335
今年の新現象	323	野崎真一	335
今春の展覧会	324	北陸画家	335
原田直次郎氏逝く	325	幽霊名画	335
芳陵	325	美術組合	336
甌外茗話 原田直次郎氏	325	岐阜画会	336
隠流投(森鷗外)	325	巴里博覧会	336
(原田直次郎肖像および騎竜観音の写真図版)	327	根本樵谷	336
京都美術雜観	333	駿州久能	336
画学生の気風	333	涅槃絵画	336
各画家健在なりや否や	333	美術協会	336
谷口香嶠氏と歴史画	334	同会春季	336
天竜寺画竜の大作	334		
竹内棲鳳と鈴木松年	334		
雑事			

東宮慶事

336

大熊氏広

336

銅像建設

336

●第二十五号(明治三十三年三月十日)

作品

「雨中山水」

熊谷直彦

343

「驟雨」

谷口香嶠

345

「母子」

上村松園

374

「ハンプステッドの森」「米国ニウヘブンの秋」

三宅克己

349

ジョン、ラスキン(一)

観堂学人

353

燈下画譚 鑑画論(一)

我石半仙

364

東都社寺美術巡覧(五) 堤雪館筆「韓信出胯下図」

370

倫敦美術館の記(二)

和田英作

374

ローヤル、アカデミー、オフ、アーツの夏季展覧会

批評

無罪門(酔壺・左人・桜東・芳人)

熊谷直彦筆雨中山水(巴里万博出品。瀬戸物屋

・鼯鼠・むだ口・悪口・理窟家)

378

谷口香嶠筆驟雨(巴里万博出品。京師方・鼯鼠

・悪る口・嘆息家・悪口・隠居)

380

上村松園筆母子(巴里万博出品。大鼯鼠・眼鏡

を掛けたる人・小鼯鼠・心配家・不平家・女

嫌い)

380

三宅克己筆倫敦ハンプステッドの森・米国ニウ

ヘブンの秋(巴里万博出品。上・批評家・

鼯鼠・一言生)

382

時文

美術に対する世潮

384

記念美術館の設立

385

記念美術館の設立の議を採るべし

芳陵

385

美術学校の位地

388

美術家保護

388

米人武威氏日本絵画を評す	389
地方美術志想の発展	389
雑俎	
日本画会展	390
長沼守敬	390
美術協会新館	390
川越画宝会	390
パレット倶楽部	390
今尾景年献上屏風	391
無声会	391
合田清渡佛	391
浅井忠渡佛	391
在巴里杉竹三郎近信	392
全国南画共進会	392
小林某古美術品会社設立	392

『美術評論』 人名索引

凡 例

一、本索引は、『美術評論』全四巻中の記事執筆者及び記事見出しに掲出する人名を五十音順に配列したものである。

一、掲出箇所は、巻数を丸数字で、頁数を漢数字で表示した。

一、頁数を（ ）で括ったものは、その頁の後の綴（折）込であることを示す。

一、記事執筆者の場合はゴシック体で、見出し中の場合は明朝体で掲出頁を示し、見出し中のみ掲出する人名は、その人名を明朝体で表記した。また口絵図版に関しては「図」の字を付した。

一、（ ）内に表記した仮名は、本書中で記事執筆者が使用しているものである。

一、批評欄「無扉門」中の執筆者については、仮名の比定が困難な場合と量的な都合を配慮して、原則的に各号同欄の冒頭頁を表示することとした。

あ

曉鴉↓久米桂一郎

浅井悦次郎

浅井忠

朝日明堂

荒川嶺雲

荒木寛畝

安藤仲太郎

い

飯島虚心

石井鼎湖

石川光明

今井孝寛

①三七一

今泉雄作

①四〇四 ②三八五

今尾景年

①二〇七(図)・二四五 ④二二一

(図)・二五二・三九一

岩村透(醉壺・観堂学人・鏡泉)

①三二・三七・四一・九二・一六

三・一六八・二三三・三一二・三

二九・三八一・四五八 ②四五・

一二九・一九六・二八二・三四四

・三六七・四一八・四四三 ③四

六・一一五・一九一・二七一・三

四〇・四〇五 ④三一・九二・一

六八・一七三・二三一・二三六・

三〇一・三〇五・三五三・三七八

岩村通俊

①四八一

う

上村松園

④三四七(図)・三八〇

内海吉堂
海野美盛

- ②一七七(図)・二〇五
①七(図)・四一・七五(図)・九二
②三八五

お

桜東

- ④三〇五・三七八

大出東皐

- ①二〇九(図)・二四七

大熊氏広

- ①五八 ④三三六

大橋翠石

- ③二四一(図)・二七九

大庭学仙

- ②二八九

大村西崖(岳南・自然堂・無記菴・編者・非淵・岡古)

↓無名氏

- ①二三・三七・四一・五〇・七九
・九二・一一七・一五六・一六八
・一八二・一八五・一八六・二一
八・二三三・二五四・二五七・二
五八・三〇〇・三二三・三二八・
三二九・三五九・三八一・四〇〇
・四〇一・四〇二・四三五・四五

大森敬堂
岡倉覚三

岡倉秋水

- 八・四七四・四七五 ②二七・四
五・六八・七〇・七三・一〇九・
一二・一二九・一六〇・一八七
・一九〇・一九六・二一〇・二二
四・二二七・二二九・二三〇・二
六四・二八二・二九三・三四四・
三五二・三六七・四一八・四三〇
・四三三・四五二・四五二 ③四
六・九五・一〇一・一〇五・一
二・一一五・一二二・一三〇・一
七八・一八一・一八五・一九一・
一九七・二二〇・二五五・二七一
・三三一・三四〇・四〇〇・四〇
五 ④二二・九二
①四六五
①七七・五七・一二〇・二五八・
四〇〇・四八〇 ②二三一・三八
五 ④一二八・二七二
②二七一

岡崎雪声

②三八五

岡田秋嶺

①四一七(図)・四六四 ②五四・

六四

岡部覚彌

①一四七(図)・一七九

尾形月耕

②二〇三 ③一九五

尾竹国観

③二八二

尾竹竹坡

①四六八

落合芳幾

④一〇八

隠流↓森鷗外

か

香川勝広

②三八五

角丸

①四一・九二・一六八・二三三・

三二三・三八一・四五八 ②四五

・一二九・一九六

加藤景雲

④五(図)・三一

加藤彩溪

①二二一(図)・二四九

金子堅太郎

①五二

加納夏雄

②七九・一五九

叶丸

④九二

加部巖夫(ただし誤記)③三三

川合玉堂

①一一九・四一五(図)・四六二

川崎茶六(千虎)

②一八一(図)・二〇七

河瀬秀治

①三二・一六三・二三九

川端玉章

①四〇四

川村清雄

①一三九(図)・一七二 ②二四五

(図)・二八二 ③三二三(図)・三

四六 ④二二九(図)・二五〇

河村謙吉

②四〇三(図)・四四八 ④七五・

七七(図)・九二・九四

漢竹↓溝口楨次郎

②一三四

観堂学人↓岩村透

岳南↓大村西崖

②一三四

き

菊池芳文

③二三一(図)・二七四

菊地容斎

④四二・一五九(図)・一八〇

北村直次郎

③三九一(図)・四一一

北蓮蔵

②一〇五(図)・一三九・一八五

(図)・二〇九

木村信太郎

②三三五(図)・三七五 ③一一

(図)・四七

鏡泉↓岩村透

虚心生↓飯島虚心

ギョオム・ベルシエ

②三〇五

九鬼隆一

①一五 ②二三一 ④一九九

く

国芳

④一〇八

久保田米斎

①一四五(図)・一七八 ④二七一

熊谷直彦

④三四三(図)・三七八

久米桂一郎(方眼)↓无名氏

①一七・四一・九二・一三三(図)

・一四九・一六八・一六八・二三

三・二六九(図)・二九五・三二三

・三二三・三五一・三八一・四二

五・四五八 ②一九・四五・五八

・六七・一二九・一九六・二六一

・二八二・三二三(図)・三三九・

三六七・三六七・四〇五(図)・四

一八・四四三・四四九 ③四六・

一一五・一五七(図)・一六九・一

九一・一九三・二四三・二七一・

三〇九(図)・三一七・三四四・三

九三・四〇五 ④一七・三四・八

五・九二・九八・一六一・一七三

・二四一・二八七(図)・三〇八

①(六六)(図)・九六・一三五(図)

・一六九②五七・六六・一〇一

黒田清輝

グリイソン、ホワイト ③四一二
 ①(図)・一三六・二五七(図)・二九
 二・三一一・三八五 ③一五五
 (図)・一九一・三八一(図)・四〇
 六 ④一五五(図)・一七八・二九
 一

こ

黄 鉞 ③二〇五
 高 崇 溪 ④二五六・三一九・三二一(図)
 香 雪(前田) ②一四二
 光 琳 ②二九三
 小坂象堂 ①一一九・一四三(図)・一七六・
 三九二 ②九九(図)・一三五・三
 三一(図)・三七一・四〇七(図)・
 四四九 ③八五(図)・一一九・三
 八三(図)・四〇七 ④一二九

糕阪↓森鷗外

小林 呉 嶠 ②九三(図)・一三一 ③八一・八

小林 万 吾 三(図)・一一八・一一九
 ①三九七・四二一(図)・四七二②

小堀 鞆 音 三二七(図)・三七〇
 ①二〇五(図)・二四四・四〇一・

故無名氏↓堀直格 四一三(図)・四五七 ②三七七

合田 清 ④三九一

さ

西郷 孤 月 ①二五一 ②一一(図)・五一・六

三

笹井 英 昭 ②三七八

左 人 ③四六・一一五・一九一・二七一

・三四九・四〇五 ④一七三・三
 〇五・三七八

佐野 昭 ④二八九(図)・三〇九

し

司 空 図

③二〇七

柴 野 栗 山

③二九一

島 田 墨 仙

①二七七(図)・三二一

下 村 観 山

②七〇・九一(図)・一二九・三三

七(図)・三五〇・三七六

釈 寂 昭

③一三三

小 代 為 重

①四七二 ②一四〇 ④八一(図)

・九七

白 井 雨 山

①一九九(図)・二三三

白 王

④九二・一七三・三〇五

白 瀧 幾之助

①二〇三(図)・二三八 ②一〇三

(図)・一三九・二五五(図)・二九

一・三三五(図)・三六九

新 開 竹次郎

①九(図)・四五

新 間 雲 屏

③一三三

自然堂↓大村西崖

ジュリエット、ウキツマン

①四一九(図)・四七〇

ジュール、ブレトン

④二五九

ジョン、ラスキン

④三五三

す

酔 壺 ↓ 岩村透

末松青萍(謙澄)

④二一三・二八三

杉 竹 三 郎

④三九二

杉 谷 雪 樵

②二三三

周 滑 平 先 生

③一二五

鈴 木 華 村

④二八五(図)・三〇八

鈴 木 松 僊

③三八七(図)・四一〇

鈴 木 松 年

④三三四

住 吉 広 行

③二九一

せ

雪
舟

②二一〇

た

田井月耕

④二二三(図)・二五三

大蘇芳年

①三三〇

高橋応真

③一六三(図)・一九六・三四九

高橋節雄

③八七(図)・一二一

高村光雲

④二二七(図)・二五五

高山林次郎

③二一一 ④一二六

滝和亭

④七九(図)・九五

竹内棲鳳

①七三(図)・一一一・一一八・二

七三(図)・三一六 ②一七一(図)

・一九六 ③二三五(図)・二七七

④三三四

竹内久一

③七九(図)・一一七

田崎草雲

③一九〇

立松輝石

②一七五(図)・二〇四

谷口香嶺

④三三四・三四五(図)・三八〇

談
峯

②一四二

ち

潮音軒

①二五三・三二八・四〇二・四〇

三・四七六 ②七〇・一五九・二

二四・四五〇

兆殿司

③三五一

著聞堂主人↓森鷗外

つ

月岡芳年

②二三一

月谷はつ女

③三八九(図)・四一一

て

堤雪館

寺崎廣業

④三七〇・三七一(図)

①六九(図)・一二四・四〇一 ②

九(図)・四八・六二 ③三四九

と

戸田玉秀

都鳥英喜

外山正一

呑月

③一六七(図)・一九六

③一六一(図)・一九五

①三二九

①九二・一六八・二三三・三二三

・三八一

な

長沼守敬

①四八一 ②一五七・四五四 ④

一二六・三九〇

長原孝太郎

①三九八 ②二五三(図)・二九〇

③一三四

に

新納忠之助

①二〇一(図)・二三六

ね

根本樵谷

④三三六

の

野口小薺

③三八五(図)・四一〇

野口藤三郎

②一〇七(図)・一四一

野口幽谷

②四五三 ③三三

野崎真一

④三三五

野村文挙

①四〇三 ②三九九(図)・四四四

④一五一(図)・一七七

は

橋本雅邦

①一一九 ②六(図)・四五・五九
・四四六 ③九(図)・四六・三四
六 ④一二八・一四九(図)・一七
三

長谷川等伯

③二八三

浜尾新

①一二三

林忠正

①四七四 ②二三〇

原田直次郎

④三二五・三二七(図)

晩香園

①一八二・二五三・二五四・三三
八・四〇〇・四七四 ②七〇・一
五七・一五八・一五九・二三四・
四五〇

ひ

非淵↓大村西崖

菱田春草

②七三・一七三(図)・一九八 ③
三四九

一曲

①四一・九二・一六八・二三三・
三二三・三八一・四五八 ②四五
・一二九・一九六・二八二・三六
七・四四三 ③四六・一一五・一
九一・二七一・四〇五

平子秋菰(鐸嶺)

③三五一

平亭(畑)銀鷄

①四四九

平福百穂

②四〇一(図)・四四七

広瀬勝平

②三二九(図)・三七〇

ふ

フェリックス、レメガー

④一一三・一八二

フェノロサ

②二二九

福井江亭

③一六五(図)・一九六・三二五
(図)・三四六

福地天香（復一） ①五七・一五四・四七八

藤島武二 ①二七一（図）・三一四 ②二五九（図）・二九三

藤田文蔵 ①一八三・三二八

不由 ②一二九・一九六・二二〇・二九三

フラ、アンジェリコ ①（六）（図）

へ

編者↓大村西崖

ほ

方眼↓久米桂一郎

芳人・芳陵↓吉岡芳陵

ホベマ ④三〇三（図）

堀直格（故無名氏） ②二七三・三六二・四三九 ③三

六

本多天城 ①一四一（図）・一七四
本多万翠 ③二三三（図）・二七六

ま

待風郎 ①二五二

松里政登 ②九七（図）・一三四

○△ ④一七三

丸々（〇〇） ②二八二・三六七・四四三

み

三宅克己 ④三四九・三五一（図）・三八二

溝口禎次郎（漢竹） ①九〇 ②一五〇・二一九・三〇

一・三七九 ③五二

満谷国四郎 ③一五（図）・四九・一五九（図）・

一九四 ④二二五（図）・二五五

三宅雪嶺 ①五〇

む

向井勝幸

①一三(図)・四八

無記菴↓大村西崖

無色斎主人

③二一〇

無名氏||森鷗外・大村西崖

①二三・七九・一五六・二一八・

三〇〇・三五九・四三五 ②二七

・一一二・一九〇・二六四・三五

二・四三〇 ③一八五・三三一・

四〇〇 ④二二

無名氏||久米桂一郎・森鷗外

①二九五・三五一・四二五 ②一

九・二六一・三三九・四〇九 ③

二一・一六九・二四三・三一七・

三九三 ④一七・九八・二四一

村田丹陵

①三四一(図)・三八九 ②九五

(図)・一三二・二二四

め

メリイ、カザット

④一五(図)・三五

岡古↓大村西崖

木 米

③一三一

も

望月金鳳

①四〇三 ④二八一(図)・三〇五

森鷗外(糕阪・著聞堂主人・隠流)↓無名氏・無名氏

①二三・四一・七九・九二・一五

六・一六八・二一八・二三三・二

五一・二九五・三〇〇・三二三・

三五一・三五九・三八一・四二九

・四三五・四五八 ②一九・二七

・四五・一一二・一二九・一九〇

・一九六・二六一・二六四・二八

二・三三九・三四四・三五二・三

森川 曾文

や

屋代 弘賢

山口 古菴
山崎 朝雲

- 六七・四〇九・四一八・四三〇・
四四三・四五四 ③二一・三五・
四六・八九・一二・一一五・一
六九・一八五・一九一・二四三・
二五二・二七一・三一七・三二八
・三三一・三九三・四〇〇・四〇
五 ④一七・二二・九八・二四一
・三二五
②二〇八 ④二八三(図)・三〇七
- ③四一九 ④四九・一八八・二六
〇
③三五
①一一(図)・四七・四二三(図)・
四七三 ③三〇三(図)・三四〇
④一五七(図)・一七九・七(図)・
三二

山田 鬼齊

山田 敬中

山元 春拳

山本 森之助

ゆ

湯浅 一郎

結城 素明

よ

容 牛

横山 大観

- ①九四・一一九
①七一(図)・一二・二七五(図)
・三一九・四〇一 ③二三九(図)
・二七八・三四八
②一七九(図)・二〇六 ④一五三
(図)・一七七
④八三(図)・九七
- ②一五(図)・五七・六六
①一一八・三四三(図)・三九一 ③
七(図)・四六・二三九(図)・二七
一 ④九(図)・三二一
- ④九二
①三三九(図)・三八一 ③三四七

吉岡芳陵(若人・芳陵)

④九一・一七三・三〇五・三二五
・三七八

吉田 博

③一九三

米原 雲海

①二八一(図)・三二五 ③一九
(図)・五一・三〇五(図)・三四三

ら

ラクウザ

③一七(図)・五〇

ラファエル、コラン

③三〇七(図)・三四四・三七九
(図)・四〇五 ④一三(図)・三四

れ

レムブラント

③四一三

廉 窩

②一四二

ろ

ロイスダエル

④二二九(図)

ロドルフ、ウキツマン ①三四五(図)・三九四 ②一三

(図)・五六・六五

わ

我石半仙

④三一六・三六四

渡辺啓三

②三三三(図)・三七四

渡辺香涯

①二七九(図)・三二四

渡辺審也

③二三(図)・四八・一二〇

渡辺長男

①三四九(図)・三九九 ②一七

(図)・五八・六七

和田英作

①六七(図)・一一〇・一三七(図)

・一七〇・三四七(図)・三九六

②一四〇 ③三一一(図)・三四五

④二〇六・三一二・三七四